

# 11 新しい福祉のかたち

5年後のめざす姿

市民が支えあい、安心して暮らせる地域をつくっています。

少子高齢化や人口減少、福祉ニーズの多様化・複雑化など、福祉分野を取り巻く環境は大きく変化してきています。それらの課題に対応するため、総合的に福祉サービスを提供する仕組みの構築が求められています。

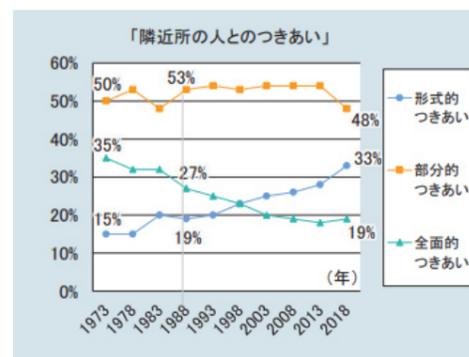
## 課題は？

### 地域のつながりの希薄化

核家族化が進んだことや働き方の変化、生活様式の多様化などに伴い、住んでいる地域や隣近所の人との関わり合いが薄れてきています。何らかの支援を必要とする人と、それを支えた人を結びつけることが必要です。

また、安定した生活を送るためのニーズが多様化してきたため、公的なサービスだけでは対応しきれなくなっています。

【NHK 放送文化研究所による「日本人の意識調査」】



隣近所との付き合いにおいて、何かにつけ相談し助け合うといった「全面的つきあい」は、大きく減少してきていることが分かります。  
※資料は、令和2年度厚生労働白書から抜粋

### 3 すべての人に健康と福祉を

SDGsとは、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。17のゴール・169のターゲットで構成されています。市でも「誰一人取り残さない」まちづくりを進めています。



## 解決策

新しい福祉のかたち  
桑名福祉ヴィレッジの整備

### 必要なことは

家庭や地域の中で障害の有無や年齢に関わらず、支え合いながら、その人らしく安心して生活を送るためには、「地域を支える人づくり」「地域を見守る仕組みづくり」「地域をつなげる場づくり」が必要です。地域でのつながりが希薄化している現代において、福祉ヴィレッジの整備は、課題の解決につながる全国的にも珍しい、先進的な取り組みです。

### 桑名福祉ヴィレッジとは

高齢者、障害者、子どもなどに対して通所や入所、相談などの福祉サービスを包括的に提供する多世代交流・多機能型の福祉拠点と、地域の人たちにとって憩いの場となる公園を一体的に整備するこれまでにない施設です。公園を併設することで、利用者同士の交流やコミュニケーションが促進され、地域共生社会のモデルとなることをめざしています。



令和4年4月にオープンする「桑名福祉ヴィレッジ」の完成イメージ  
所在地／桑名市大字星川 2239-1

## 桑名福祉ヴィレッジの完成で、ここが変わります！



### 縦割りの解消

「子育て」「障害」「介護」など、一つの家庭で同時に複数の課題を抱えているケースは少なくありません。その場合においても、包括的な支援を受けることができます。



### 提供サービスの充実

さまざまな施設が同一敷地内に集まっており、施設の相互利用が可能です。また、移転により児童発達支援センターは定員が増加しており、安心してサービスを利用できます。



### 育休退園の廃止

新たに定員90人の保育園が開設されます。これにより、保育園に子どもを預ける保護者が育児休業を取得する場合には、保育園を退園していただく「育休退園」を、市全体で廃止します。

# 新しい 福祉のかたち

## 多世代共生型施設（桑名福祉ヴィレッジ）の整備を促進します。

●地域をつなげる場づくり

5年後のめざす姿



●一人ひとりが互いに協力・連携し、地域で安心して暮らせる環境が整っている

### 指標

地域福祉の満足度を高める

市民満足度調査で「満足」と回答した人の割合

平成30年度実績

10.8%



5年後増加へ

市民が取り組みます！



認知症声かけ訓練（令和元年度）

- 市民、自治会、各地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、老人クラブ、子ども会、障害者団体、ボランティア団体、NPO、サービス提供事業者などみんなが連携し合ひましょう。
- 地域福祉活動に参加しましょう。

市が取り組みます！



市内3カ所に設置した福祉なんでも相談センター

- 福祉課題を包括的に解決できる場所の整備を、社会福祉協議会と連携して進めます。
- できる限り多くの市民が地域福祉活動に参画できるよう、周知や啓発をさまざまな場面で行っていきます。

市民編集員の  
「これも聞きたい」



佐藤さん (70代)

Q 桑名福祉ヴィレッジは一般の人も利用できますか？

A

地域の人など、さまざまな人たちが交流するためのスペースを設け、交流ラウンジや会議室が備わります。また、食料品や日用品、雑貨などを購入できる店舗が併設されます。一体的に整備されるヴィレッジ公園も、どなたでも利用できます。

(福祉総務課)



①店舗のイメージ ②整備される公園のイメージ

現在

## 横断的に解決する包括的なサービスの提供

### ◎福祉なんでも相談センターの整備

介護や障害、子育てなど、さまざまな福祉分野の相談に対して総合的に対応する窓口を、大山田・多度・長島の3カ所に整備しました。

### ◎桑名福祉ヴィレッジの整備

桑名市社会福祉協議会と大和リース株式会社三重支店による共同提案があり、今年4月のオープンに向けて着々と工事が進められています。



2月に撮影した上空からの写真

過去

## 複合・複雑化した課題

社会の変化により、個人や世帯が抱える課題は複合・複雑化しています。一方で、行政の窓口は、介護・障害・子ども・困窮など、分野ごとに分かれており、相談先が分かりにくいことや、複数の部署にまたがる課題を抱えている場合に、それぞれに相談しなければならぬといった課題がありました。



この記事に関するお問い合わせは、秘書広報課へ（☎ 24-1492 FAX 24-1119）

## 市長とみんなの ネクストビジョン

No.11 新しい福祉のかたち



特集「桑名市総合計画をもとく」の第11弾は「新しい福祉のかたち」です。

少子化と高齢化が同時に進む、人口が減少する日本。人口増が基本であったこれまでの福祉政策から、大きくかじを切る必要があります。

その一つが縦割り行政の打破です。これまでの福祉施策では、子どもは保育のサービスを受ける人、高齢者は介護のサービスを受ける人、障害を抱えた人は障害福祉のサービスを受ける人でした。しかし、ある福祉施設の夏祭りの様子を見て、はっとしました。

そこでは、高齢者も子どもも障害を抱える人も、みんなが支えあって、夏祭りを楽しんでいます。これからは、支える、支えられるといった関係を超えて、お互い支え合うのが新しい福祉のかたちなのではないか、と考えるようになりました。

そこで桑名市では、これまで高齢者、障害者、子どもな

ど対象者や分野ごとに提供してきた福祉サービスを一体的・包括的に提供することで、地域で誰もが支え合う「地域共生社会」つまり、新しい福祉のかたちを実現しようと考えました。そして平成29年、桑名市が所有する「養護老人ホーム」「保育所」「療育センター」「母子生活支援施設」を一つの場所に集め、子どもから高齢者まで多世代が交流できる多世代共生型施設の建設計画をスタートしました。今年4月、この「桑名福祉ヴィレッジ」がオープンを迎えます。

桑名福祉ヴィレッジには、新しい福祉のかたちを実現するという大きな目標がありますが、それ以外にもさまざまな工夫が施されています。

コストを抑えるため、建設の方法も工夫し、行政だけでなく、民間事業者のアイデアを活用して、市は土地を貸し、建設と運営は民間事業者任せの手法を



桑名福祉ヴィレッジ建設現場に、近隣小学校などの子どもたちが描いた色とりどりの絵を掲示していただきました。

取っています。また、敷地内に散策ができる公園や地域交流施設、店舗も整備しますので、施設内の人たちの交流だけでなく、地域の人々との交流も図れることが期待できます。

建設中も、現場の壁面に近隣の小学生や保育所の子も地域がこの施設を歓迎しているだけで、大変うれしく思います。

お互いが支え合い、地域との交流を通じて充実した生活を送られる、そんな新しい福祉のかたちをしっかりと実現してまいります。